

### 第3次行政改革大綱個別取組事項ヒアリングシート

所管課	危機管理課
主要取組事項 10本の柱	①市民などとの連携・協働
個別取組事項	No. 10 防災意識の高揚
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が整備する備蓄品以外に、啓発活動により個人備蓄の推進をめざす。</li> <li>・小学校区やコミュニティ単位での自助・共助の機能を高める防災活動を推進する。</li> </ul>

#### 1. 令和3年度 of 取組内容・結果

##### ○ 防災ハンドブックの作成・配布【防災ハンドブック①】

##### ○ 災害への備えや個人備蓄についての啓発活動の実施

- ・防災講演会(参加者:224名)
- ・出前講座(7か所)
- ・広報掲載(6月号)
- ・市役所南館1階フロアに防災啓発コーナーを設置【資料1】

##### ○ 市総合防災訓練の実施

緊急事態宣言下のため、職員のみで避難所開設訓練を実施。新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を踏まえた受付方法(ゾーニング)や、避難所用屋内テントを設営したレイアウトを確認。

##### ○ 自主防災組織による防災訓練の実施

参加人数を減らしたり、訓練内容を工夫して防災訓練を実施。

(単位:団体)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
自主防災連合会	3	4	7
単独自主防災会	38	25	100

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3つの密(密閉、密集、密接)を避けることが求められ、防災訓練等の防災活動を実践する機会が減少した。

#### 2. 令和4年度における現状・課題

○ 令和3年7月に実施した市民アンケートでは、「家庭での防災の備えができています」と答えた割合が42.6パーセント(平成28年8月実施のアンケートでは33.4パーセント)で、半数以上は備えができていない状況であり、引き続き災害への備えに対する意識を高める取組を行っていく必要がある。

○ 令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、防災訓練等の防災活動を実践する機会が減少した。防災は、日常生活ではあまり意識されず、災害が起きたり、防災について考える機会をきっかけに意識が高まる。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、災害はいつ起こるか分からないため、感染症対策を講じながら防災活動を実践していく必要がある。

○ 避難所は、避難所に避難する地元の自治会や自主防災組織での運営が基本となるため、新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を踏まえた避難所の開設・運営方法を共有しておく必要がある。

### 3. 令和4年度の取組計画

目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人備蓄の推進 災害時の物資不足を減らすことで、避難生活の混乱を軽減したり、在宅避難を可能とする。</li> <li>○ 自主防災会同士の連携と機能強化 災害時の避難所運営には市民の主体的な行動が必要であり、各地区の自主防災会同士の協働が必須である。市と自主防災会との間で、平常時から協力関係を築き、実践的な訓練を積み重ねていくことで、自主防災会同士の連携と機能強化を図る。</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災意識の向上を図るため、防災に関する情報を発信</li> <li>○ 家庭内備蓄を推進するため、「たすかるバッグ」や個人備蓄(ローリングストック等)を啓発</li> <li>○ 小学校区またはコミュニティ単位で行う避難所運営訓練を推進。また、新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を踏まえた避難所の開設・運営方法を共有</li> <li>○ 自主防災連合会の結成に向けた助言・サポート</li> <li>○ 自主防災会が行う防災訓練への助言・サポート</li> <li>○ 防災活動を推進する人材の育成、関係団体への協力</li> </ul>
スケジュール	<p>&lt;防災意識の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高潮ハザードマップの配布(4月)【新規】</li> <li>○ 広報掲載(6月号・指定避難場所、指定避難所、市防災メールの登録など)</li> <li>○ 市防災メールの月1回テストメール送信時に、啓発情報を掲載【新規】【資料2】</li> <li>○ 災害情報をSNS(LINE、Twitter、Facebook)を活用して発信【新規】【資料2】</li> <li>○ 台風接近等が見込まれる場合に、市防災メールやSNSで災害への備えの呼びかけを実施【資料2】</li> </ul> <p>&lt;個人備蓄の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備蓄食料(入れ替え)を活用した、「たすかるバッグ」や個人備蓄(ローリングストック)の啓発(自主防災会、中学校、関係団体(社会福祉協議会、防災・減災の会、赤十字奉仕団等)を通じて実施)【防災ハンドブック②】</li> <li>○ 備蓄用粉ミルクと哺乳ボトル(入れ替え)を母子保健事業来所者へ配布し、乳児を育てる家庭での備蓄を啓発(4月、5月、12月、1月)【新規】</li> <li>○ 出前講座の実施(随時受付・10か所)</li> </ul> <p>&lt;防災活動の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織向け防災訓練マニュアルを作成し、自主防災会へ配布(4月)【新規】</li> <li>○ 防災訓練の実施(令和4年12月末現在) <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区またはコミュニティ単位での防災訓練(7団体・時期は各地区で設定)</li> <li>・単独自主防災会での訓練(41団体・時期は各自主防災会で設定)</li> <li>・市総合防災訓練(8月)【資料3】</li> </ul> </li> <li>○ 自主防災会による先進地視察を実施(大府市・10月)【資料4】</li> <li>○ 海部地区市町村合同で防災リーダー養成講座(12月)、防災ボランティアコーディネーター養成講座(1・2月)の開催</li> <li>○ 関係団体が実施する防災活動への物品貸出等の協力(随時)</li> </ul>



## テストメール

### 【愛西市防災メールのテスト配信です】

テスト配信を兼ねて、毎月15日にメール配信しています。

#### ◆◆ 「日頃からの備えの大切さ」 ◆◆

自然災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために、日頃から備えましょう。備蓄の必要性を感じている方も、実際に食料を備蓄しておくことはなかなか難しいものです。災害時に役立つと言われている保存食も、賞味期限を定期的に確認していなかったり、食べ方を知っていなかったりすると、いざという時に食事にありつけないかもしれません。そこで、もしもに備えることができる備蓄方法「ローリングストック」をご紹介します。

#### ◆◆ 【ローリングストック方式とは】 ◆◆

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法。

これを機に、ぜひご自宅の備えを今一度ご確認ください。

## 台風情報

### 台風第14号に関するお知らせ

台風第14号は、今後九州付近や中国地方付近を通り、日本海を北東に進む見込みです。愛知県には、19日午後から20日午前中に最も接近する見込みです。

台風が接近する前から雷を伴って激しい雨が降る可能性があります。低い土地の浸水、河川の増水に注意してください。

最新の情報は、テレビやインターネットなどの気象情報や市からの防災メールをご確認ください。

また、防災ハンドブックやハザードマップを確認し、いざという時に備えましょう。

防災ハンドブックはこちら

[https://www.city.aisai.lg.jp/contents\\_detail.php?frmlid=13191](https://www.city.aisai.lg.jp/contents_detail.php?frmlid=13191)

## LINE

愛西市

2022年9月16日(金)

【台風第14号に関するお知らせ📢】

台風第14号は、今後九州付近や中国地方付近を通り、日本海を北東に進む見込みです。愛知県には19日午後から20日午前中に最も接近する見込みです。

台風が接近する前から雷を伴って激しい雨が降る可能性があります。低い土地の浸水、河川の増水に注意してください。

最新の情報は、テレビやインターネットなどの気象情報や、市からの防災メールをご確認ください。

※愛西市防災メールでは気象情報や避難所開設情報などの様々な情報を配信しています。登録していない方は次のリンク先からご登録をお願いします。

[https://www.city.aisai.lg.jp/contents\\_detail.php?frmlid=13378](https://www.city.aisai.lg.jp/contents_detail.php?frmlid=13378)

愛西市防災メール配信サービスに...  
愛西市公式ホームページ

17:30

2022年9月20日(火)

令和5年度保育園・認定こども園・幼稚園の入園受付を開始します。

受付期間は10月3日(月)から31日(月)(土・日曜日・祝日を除く)までです。

詳細については、ホームページをご覧ください。

[http://www.city.aisai.lg.jp/contents\\_detail.php?frmlid=14587](http://www.city.aisai.lg.jp/contents_detail.php?frmlid=14587)

10:01

新型コロナウイルス感染症  
対応避難所受付訓練



避難所用屋内テント  
設営訓練



イメージ図



マイタイムライン  
作成訓練



避難所ルールづくり



# 自主防災会「先進地視察研修会」

資料 4



共和西自主防災会による事例紹介・意見交換会



集合写真



防災学習コーナー



地震・水害ライブステージ



地震体験コーナー



水害体験コーナー

# 自分たちのいのちは、自分たちで守る

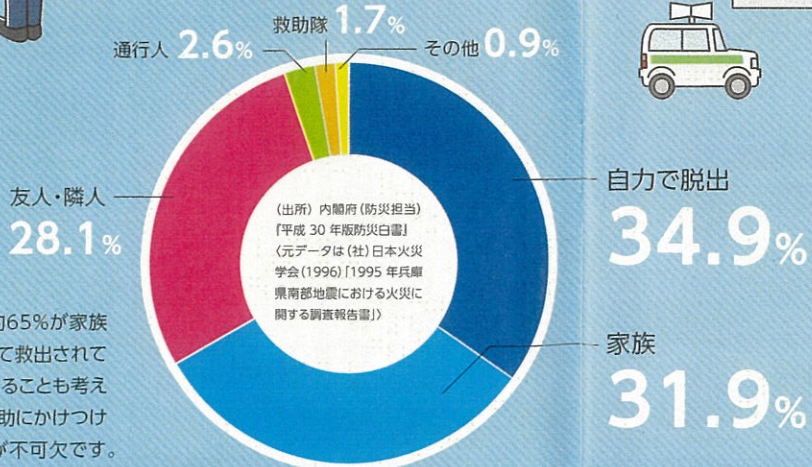
## 「自助」と「共助」で防災力アップ!

災害時は、「自助」「共助」「公助」の3つが連携することが大切です。自分や家族の身を守り、地域で支え合うことで、災害の被害を最小限に抑えましょう。



## 阪神・淡路大震災において 生き埋めや閉じ込めから 救出してくれたのは誰か?

阪神・淡路大震災では、生き埋めや閉じ込められた際、約65%が家族を含む「自助」、約30%が友人や隣人による「共助」によって救出されています。大規模災害が起こったときは、行政自体が被災することも考えなくてはなりません。すぐに消防や警察、自衛隊などが救助にかけつけることが難しいため、家族や住民同士で助け合う姿勢が不可欠です。



### 自助

個人・家族

自分の身は、自分で守る。



### 公助

国・愛知県・愛西市などの行政機関

情報発信、応急措置、復旧などの後方支援をする。



地域

自治会、町内会、自主防災組織など地域の人たちが力を合わせて協力する。

## 助け合えるコミュニティづくりを!

いざというときに地域で助け合うために、普段から協力できる環境や関係を築いておくことが重要です。町内会や消防団、学校のPTA活動など、地域で行われる活動に参加する、近所で声をかけ合うなど、日ごろからコミュニティの絆を育む機会を持ちましょう。

### 自主防災組織(自主防災会、自主防災連合会)とは?

災害が発生した際、消防などの防災機関が現場に到着して活動を開始するまでの間に、初期活動をして被害を最小限に抑えたり、防災機関の活動をサポートして被害の拡大を防ぐ役割を果たす組織です。愛西市では、市内全地域で自主防災会が結成されています。万が一に備えて、平常時より地域の自主防災活動に参加しましょう。

### 自主防災組織の一例

	平常時	災害時の活動
情報班	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災知識の普及啓発</li> <li>災害時の情報伝達体制を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報の収集</li> <li>避難状況の把握</li> <li>地域への広報活動</li> <li>防災機関への被害情報の伝達</li> <li>地域の情報収集と集約</li> </ul>
消火班	<ul style="list-style-type: none"> <li>街頭消火器、簡易消火栓、貯水槽などの確認</li> <li>消火器具や機材の保守点検</li> <li>消火訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出火防止の徹底</li> <li>初期消火活動の実施</li> <li>防災機関への協力</li> </ul>
救出救助班	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急処置や救出法の技術習得</li> <li>救出救助に関する講習会の実施</li> <li>救急用品の整備</li> <li>避難行動要支援者の所在確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動要支援者の救出支援</li> <li>負傷者発生状況の把握</li> <li>救出救護活動への協力呼びかけ</li> <li>医療機関への連絡</li> </ul>
避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路や避難場所の確認</li> <li>避難誘導訓練の実施</li> <li>避難器具の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路の確認</li> <li>被害の情報収集</li> <li>避難誘導の実施</li> </ul>
給食給水班	<ul style="list-style-type: none"> <li>炊き出し訓練の実施</li> <li>非常食料、飲料水の確認</li> <li>炊き出しの用具や方法の確認</li> <li>井戸や給水地点の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料や飲料などの配布</li> <li>炊き出しの実施</li> <li>給水活動への協力</li> </ul>
衛生班	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時のごみ処理対策の検討</li> <li>ゴミ集積場所の設置確認</li> <li>仮設トイレの設置場所検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防疫活動への協力</li> <li>ゴミ集積活動の協力呼びかけ</li> <li>仮設トイレの設置</li> </ul>

### 自主防災組織育成補助金

愛西市では自主防災訓練を実施した自主防災組織に対して、防災用資機材等に要した費用を補助するための補助金を交付しています。

担当課：危機管理課 (TEL.0567-55-7130)



避難生活



# 避難生活に備えよう!

避難所にある食料や備蓄品には限りがあり、大きな災害では不足することも考えられます。避難生活の備えは自分で用意しておくようにしましょう。家族に何がが必要か考え、それぞれに合った備えをしてください。

## 非常用持出品の準備

家族一人に一つずつ、リュックサックに最小限の生活必需品を入れ、玄関の近くや車の中、屋外の物置など、避難時に持ち出せる場所に置いておきましょう。



まずはコレを準備!

### たすかるバッグ

愛西市では、簡単・手軽に作れる防災用の持ち出しバッグとして「たすかるバッグ」を作ることを推奨しています。中身はすべて100円ショップやホームセンターでそろえることができます。各家庭ですぐに持ち出せるよう準備しておきましょう。



- |  |                                    |                                      |                                   |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水2L×2本        | <input type="checkbox"/> 三角巾×2     | <input type="checkbox"/> 雨具          | <input type="checkbox"/> 老眼鏡      |
| <input type="checkbox"/> お茶500ml×1本    | <input type="checkbox"/> 応急手当用品    | <input type="checkbox"/> タオル         | <input type="checkbox"/> 常備薬等     |
| <input type="checkbox"/> アルファ化米×6      | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | <input type="checkbox"/> マット兼保温シート   | <input type="checkbox"/> ラップ      |
| <input type="checkbox"/> 缶詰×2          | <input type="checkbox"/> 笛         | <input type="checkbox"/> ボディシート      | <input type="checkbox"/> カイロ      |
| <input type="checkbox"/> 乾パン×3         | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ     | <input type="checkbox"/> 口腔ケアウェットシート | <input type="checkbox"/> 筆記用具     |
| <input type="checkbox"/> チョコレート(袋詰め)×2 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯      | <input type="checkbox"/> 現金少々(小銭含む)  | <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 |
| <input type="checkbox"/> 割りばし          | <input type="checkbox"/> 軍手        | <input type="checkbox"/> 運転免許証       | <input type="checkbox"/> マスク      |
| <input type="checkbox"/> コップ           | <input type="checkbox"/> 乾電池       | <input type="checkbox"/> 健康保険証       | <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 |
| <input type="checkbox"/> 皿             | <input type="checkbox"/> 下着×2      | <input type="checkbox"/> 銀行口座の写し     | <input type="checkbox"/> 体温計      |

## + その他こんなものも...

### 家族で共用するもの

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 手で発電できる充電器    | <input type="checkbox"/> 小型ナイフ  |
| <input type="checkbox"/> ロウソク、ライター、マッチ | <input type="checkbox"/> ブランケット |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ         | <input type="checkbox"/> 新聞紙    |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋         | <input type="checkbox"/> 生理用品   |

### 避難時に身につけるもの

- ヘルメット、防災頭巾
- 歩きやすい靴



### 各自で持っておくもの

防水のため、ファスナー付きビニール袋などに入れておきましょう。

- 年金手帳、障害者手帳\*
- お薬手帳\*
- 土地などの権利証書\*
- 印鑑
- 家族の写真\*

\*はコピーでも可



## 備蓄品の準備

電気、水、ガスなどのライフラインが止まったときを想定し、最低でも3日、できれば1週間~10日間家族が過ごせる備蓄をしておきましょう。

家族構成や食の好みなどを考え、必要な量や献立を考えてみましょう

### 食料・飲料水

常温で長期間保存しやすいものを準備。加熱やお湯が必要ないものに加え、卓上コンロなどで日常に近い食事でもできるようにしましょう。



- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 水(調理用も含め、1人1日3Lが目安)            | <input type="checkbox"/> 缶詰(果物、豆類など)               |
| <input type="checkbox"/> 野菜ジュースやスポーツドリンク                | <input type="checkbox"/> 加熱が必要ないもの(魚肉ソーセージ、チーズなど)  |
| <input type="checkbox"/> 主食(白米、アルファ化米、レトルトごはん、乾麺、パスタなど) | <input type="checkbox"/> 調味料(醤油、めんつゆ、塩、レトルトソースなど)  |
| <input type="checkbox"/> 主菜(レトルト食品、肉・魚類の缶詰など)           | <input type="checkbox"/> 栄養補助食品(スティックタイプ、ゼリータイプなど) |
| <input type="checkbox"/> 汁物(カップスープ、カップ味噌汁など)            | <input type="checkbox"/> 菓子類(チョコレート、ナッツ類など)        |

食品アレルギーを持つ人は食品の入手が困難になるのでしっかり準備しておきましょう

## Point

### 食料品や日用品は「ローリングストック」で備蓄!

「ローリングストック」とは、普段から食べているものを少し多めに買って置き、食べた分だけ買い足して常に食材を備蓄しておく方法です。防災のために特別なものを用意するのではなく、日常で食べ慣れた食材を準備でき、古いものから消費して鮮度も保つことができます。

### オススメ

食べ物や日用品を多めに買う



## 生活用品

水・電気・ガスの復旧までの、生活に必要な物をそろえます。給水袋に使える大型ポリ袋など、工夫次第で多用途に使えるものと便利です。

### ライフラインの代替品

- 生活用水(ポリタンクや風呂に溜めておく)
- 簡易トイレ
- 懐中電灯、ランタン、予備電池
- 手動の発電機
- ロウソク、ライター、マッチ
- カセットコンロ、ガスポンペ



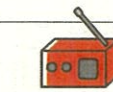
### 薬・衛生用品

- 救急箱、常備薬
- ティッシュペーパー
- トイレ用ペーパー
- ウェットティッシュ
- アルコール消毒
- マスク
- 使い捨てコンタクトレンズ
- 生理用品
- オムツ、介護用品



### 情報収集ツール

- ラジオ
- モバイルバッテリー



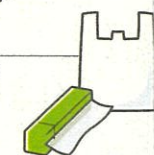
### 修繕用品

- ガムテープ
- ロープ、ビニールテープ
- ビニールシート
- 軍手



### その他

- 大型ポリ袋、ビニール袋
- 密閉できるポリ袋
- ラップ、アルミホイル
- 使い捨て手袋(ニトリルやラテックス素材)
- 使い捨てカイロ



防災ハンドブック②